

令和元年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策No.	15	施策名	快適な道路機能の強化						
主管課名	建設課								
関係課名	都市計画課								
施策が目指す点	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路が整備され、朝夕の交通渋滞が解消されています。 ・身近な生活道路が整備され、毎日の通勤、通学や買い物などが便利になっています。 ・道路の維持管理や除雪が適切に行われ、安全で円滑な交通が確保されています。 								
施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な道路のごみ拾いや除草などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 ・身近な道路の除雪などを行い、冬期間の円滑な道路交通確保に協力します。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幹線道路網の整備を計画し、事業の実施に努めます。 ・住民生活に密着し、緊急性・重要性の高い生活道路の整備に順次取り組みます。 ・きめ細かな維持・管理を行い、安全で快適な道路環境の確保に努めます。 							
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで道路の除草や側溝清掃などを行い、快適な道路環境づくりに努めます。 							
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	幹線道路の整備							
	基本事業②	生活道路の整備							
	基本事業③	道路維持管理体制の強化							
	基本事業④								
施策のトータルコスト	区 分		単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	24 (23)	30 (29)	31 (30)	28 (27)	24 (23)	24 (23)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	5 (5)	9 (9)	11 (11)	9 (9)	6 (6)	7 (7)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	13 (12)	15 (14)	14 (13)	13 (12)	12 (11)	11 (10)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	579,567	548,956	685,375	870,939	540,304	345,798
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	32,648	47,787	70,304	18,342	9,272	11,052
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	90,082	139,212	158,201	308,565	301,830	151,363
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	456,837	361,957	456,870	544,032	229,202	183,383
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	98	115	118	105	93	103	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	27,320	28,480	27,980	27,000	26,440	24,850	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	119,716	119,075	115,026	108,729	106,077	108,197	
F. トータルコスト（B+E）		千円	699,283	668,031	800,401	979,668	646,381	453,995	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の		円	13,307	12,721	16,049	20,570	12,824	8,298
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	2,749	2,759	2,693	2,568	2,518	2,596
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	16,055	15,481	18,742	23,138	15,342	10,894	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	①幹線道路の整備		
基本事業の目的(意図)	幹線道路が整備され渋滞が解消されるとともに、近隣市町に短時間で行き来できるようになっています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【道路関係同盟会事務局事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県に対して、市内県道の未改良区間の整備促進について要望を行いました。 <p>【国道8号バイパス対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省、国土交通省北陸地方整備局及び財務省に対して、国道8号入善黒部バイパスの事業促進(4車線化)について要望を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合	%	46.5	49.9	46.2	51.6 45.8	52.5 40.8	53.3 53.1	54.2 44.6	55.0
市内の道路改良率(国・県・市道) (前年度4月1日現在)	%	79.4	80.0	80.4	80.2 80.4	80.2 80.8	80.3 80.8	80.4 80.9	80.5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	土木一般管理事業	9,838,000	9,139,384	698,616	-	建設課
2	予算なし	道路関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
3	一般会計	○ 市道吉島10号線道路改良事業	8,400,000	0	8,400,000	A	建設課
4	一般会計	国道8号バイパス対策事業	313,000	283,014	29,986	-	建設課
5	一般会計	○ 市道大海寺新27号線道路改良事業	10,000,000	1,630,000	8,370,000	A	建設課
6	予算なし	○ 都市計画道路見直し事務	0	0	0	A	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			28,551,000	11,052,398	17,498,602		

基本事業概要シート②

施策 No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	②生活道路の整備		
基本事業の目的(意図)	身近な道路が整備され、毎日の生活が便利になっています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市道改良舗装事業、各市道改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民生活に密着した市道15路線の改良・舗装工事、及び1路線の調査・測量設計を実施しました。 ・通学路の安全対策として、市道住吉7号線他2路線の拡幅改良工事、歩道整備工事、用地補償交渉を実施しました。 <p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から引き続き(都)北鬼江吉島線の交差点改良工事に伴う、水路改修工事を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
市道の改良率(当年度4月1日現在)	%	76.1	77.2	77.2	77.6	77.8	78.1	78.3	78.5
					77.6	77.6	77.7	77.9	
市道の舗装率(当年度4月1日現在)	%	93.7	94.3	94.4	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5
					94.5	94.5	94.5	94.5	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 市道改良舗装事業	40,780,000	35,728,561	5,051,439	A	建設課
2	一般会計	○ 市道杉野印田線道路改良事業	43,428,000	11,220,621	32,207,379	A	建設課
3	一般会計	○ 市道江口7号線道路改良事業	52,652,560	25,943,760	26,708,800	A	建設課
4	一般会計	○ 市道岡経田立石線道路改良事業	33,500,000	36,470,272	△ 2,970,272	A	建設課
5	予算なし	○ 市道東又線道路改良事業	0	0	0	A	建設課
6	一般会計	○ 市道住吉7号線他道路改良事業	48,000,000	26,015,959	21,984,041	A	建設課
7	一般会計	○ 市道経田中町持光寺線道路改良工事	15,984,000	15,984,000	0	A	建設課
8		臨時運行許可事務	0	0	0	-	市民課
9							
10							
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			234,344,560	151,363,173	82,981,387		

基本事業概要シート③

施策 No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	③道路維持管理体制の強化		
基本事業の目的(意図)	充実した道路の維持・管理や除雪体制によって、安全で円滑な交通が確保されています。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市道維持補修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民などから苦情・要望のあった道路損傷箇所の維持補修を行いました。 <p>【土木災害応急措置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存消雪施設のシーズン前の点検・補修を行いました。 ・民間の除雪作業事業者へリース車両を貸与し、除雪体制の確保を図りました。 ・降雪の状況により除雪・排雪作業を適切に指示し、冬期間の交通を確保しました。 <p>【橋梁点検事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13橋(全238橋)の目視点検等を実施しました。 <p>【消雪施設更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進む消雪施設更新のための用地買収を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
苦情・要望のあった道路補修の実施率	%	80.3	96.3	91.2	85.0 99.2	85.0 89.8	85.0 94.0	85.0 90.9	85.0
市内の道路除雪延長(国・県・市道)	km	380.3	392.1	397.2	407.4 402.0	415.1 408.8	422.8 413.8	430.4 414.0	438.1

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	臨時運行許可事務	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	○ 市道維持補修事業	38,482,000	35,325,055	3,156,945	A	建設課
3	一般会計	道路維持一般管理事業	13,650,000	13,448,704	201,296	-	建設課
4	一般会計	○ 土木災害応急措置事業	143,467,000	107,223,746	36,243,254	B	建設課
5	一般会計	道路台帳整備事業	11,734,000	7,572,196	4,161,804	-	建設課
6	予算なし	市道認定事務	0	0	0	-	建設課
7	予算なし	道路法に関する事務	0	0	0	-	建設課
8	一般会計	市道等用地借上事業	399,000	395,902	3,098	-	建設課
9	一般会計	○ 橋梁点検事業	10,000,000	11,330,000	△ 1,330,000	A	建設課
10	一般会計	○ 災害防除事業	2,000,000	1,485,000	515,000	A	建設課
11	一般会計	○ 消雪施設更新事業	43,687,000	6,602,404	37,084,596	A	建設課
12							
13							
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			263,419,000	183,383,007	80,035,993		

施策 No.	15	施策名	快適な道路機能の強化
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民の道路に対する満足度は、平成30年度53.1%に対し令和元年(平成31年)度44.6%と8.5ポイント減少しています。市民は、通勤通学時の慢性的な渋滞の解消と、通学路の安全対策、降雪期においても支障なく通行できることを、強く望んでいます。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路改良率は、目標値を達成しています。 <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「道路現況調査資料(平成31年4月1日)」の公道(国、県、市道)について、魚津市と県内他市を比較すると、改良率は県内10市の内7番目、また、舗装率は県内10市の内5番目となっています。比較的平坦な地形の市において、いずれの率も高い数値になっています。 <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆苦情・要望のあった道路補修の実施率は、目標値(毎年85%)を達成しました。老朽化の進行により、要望は増加するものと思われます。 ◆市内の公道(国、県、市道)の道路除雪延長は、平成30年度413.8kmに対し令和元年(平成31年)度414.0kmと0.2km増加しています。市民からは、よりきめ細かな作業実施の要望が多数寄せられています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <道路関係同盟会事務局事務> ◆幹線道路整備について、国、県へ事業促進の要望を行いました。 <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <市道改良舗装事業、各市道改良事業> ◆住民生活に密着した市道15路線の改良・舗装工事、及び新規着工1路線の調査・測量設計を実施し、利便性の向上と、円滑な交通の確保に努めました。 ◆通学路の安全対策として、市道住吉7号線他2路線の拡幅改良工事、歩道整備工事、用地補償交渉を実施しました。 <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <市道維持補修事業> ◆苦情・要望のあった市道の維持補修について速やかな対応に努め、安全な道路交通の確保に努めました。 <土木災害応急措置事業> ◆市では、除雪機械と除雪作業事業者を確保しつつ、約276km(車道260km、歩道16km)の道路除雪を行い、冬期間の円滑な交通の確保に努めました。 <橋梁点検事業> ◆13橋(全238橋)の目視点検等を実施し、橋梁に異常がないか確認しました。平成29年度に重篤な損傷が認められた1橋については、引き続き通行止の措置を行いました。 <消雪施設更新事業> ◆老朽化が進む消雪施設更新のため、取水位置の選定等において用地買収を行いました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国道8号入善黒部バイパスの4車線化工事について国土交通省へ要望します。 ◆県道は、宇奈月大沢野線外3路線で道路改良事業が計画されており、これら路線の事業促進について富山県へ要望します。 ◆市道吉島10号線などの補助幹線道路について整備を進めます。 <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住民生活に密着した市道の改良、舗装工事等を計画的に進めます。 ◆通学時の安全対策として、小学校周辺を重点に通学路の整備を行います。 ◆通学路合同安全点検を基に危険箇所の対策を行うとともに、各小学校周辺の生活道路対策エリア(5地区)を合わせた、通学路、生活道路の安全対策を重点的に進めます。 <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市道の維持補修の速やかな対応を引き続き行うとともに、除雪機械と除雪作業事業者の実態把握や富山県との連携除雪作業等の協議を進め、今後の除雪体制確保に努めます。 ◆橋梁点検を行い、適切な管理を行います。(5年サイクル) ◆老朽化している消雪施設の更新を行います。 			